

柏原建設株式会社

2021年度 環境経営レポート

(対象期間：2021年 10月～2022年 9月)

発行日：2023年1月28日

I. ごあいさつ

柏原建設株式会社は、社訓に「誠意・創造・貢献」の三ヶ条を掲げ、顧客に信頼され、満足して頂けるように努力を重ねてきました。今や深刻化する環境問題、とりわけ地球温暖化防止をはじめとする環境保全活動に努めると共に地域住民の生活基盤を守り地域へ貢献してまいります。

環 境 経 営 方 針

当社は、企業理念である“誠意・創造・貢献”に基づいて、土木工事、建築工事の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

1. 経営における課題とチャンス定期的に明確化し、
エコアクション21環境経営システムを構築・運用することにより、
環境経営の継続的改善を誓約します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
(電力、ガソリン、軽油、灯油)
4. 廃棄物の削減とリサイクルを推進します。
5. 水使用量の削減を推進します。
6. 環境に配慮した施工を推進します。
7. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日： 2021年10月1日

代表取締役社長 柏原 修平

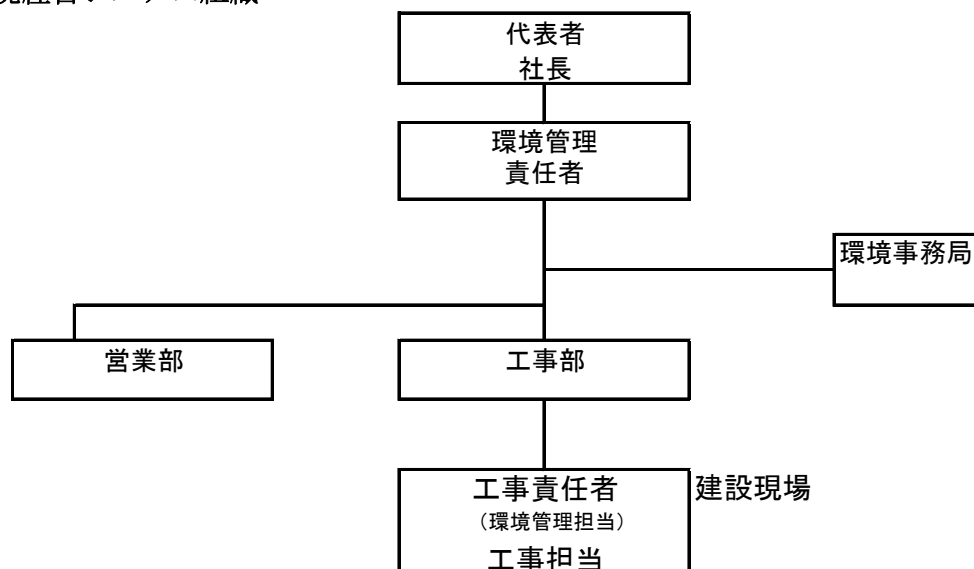
Ⅱ. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
柏原建設株式会社
代表取締役社長 柏原 修平
- (2) 所在地
本 社 〒675-2346 兵庫県加西市東剣坂町581番地の2
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者 代表取締役社長 柏原 修平 TEL:0790-46-0621
担当者 営業部 柏原 奈津実 FAX:0790-46-1621
E-Mail: info@kashiwarakensetsu.co.jp
- (4) 事業内容
土木工事業、建築工事業
許可番号 兵庫県 第351226号 許可年月日 平成22年6月30日
許可期限 令和7年1月19日
- (5) 事業の規模
設立 1977年3月15日
資本金 3000万円
年間工事完成高 549百万円 (2021年度実績)
- 各事業所の規模
- | | 本社 | 合計 |
|-------|---------|---------|
| 従業員 | 10名 | 10名 |
| 延べ床面積 | 171.59㎡ | 171.59㎡ |
| 敷地面積 | 188.23㎡ | 188.23㎡ |
- 車輛・重機 3tダンプ2台、4tダンプ2台、10tダンプ2台、軽ダンプ2台、11t回送車1台、
ショベル系掘削機14台、ロードローラー2台、ブルドーザー1台
- (6) 事業年度 10月～翌年9月

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名： 柏原建設株式会社
対象事業所： 本社
活動： 土木工事業、建築工事業

□環境経営システム組織



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 (現場代理人)	・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅳ. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020年度 基準年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	232,030	208,549			
電力使用量	kWh	12,984	13,516			
ガソリン使用量	L	14,017	12,093			
軽油使用量	L	74,470	67,307			
灯油使用量	L	1,133	842			
廃棄物排出量	kg	322,030	275,391			
一般廃棄物	kg	210	200			
産業廃棄物	kg	321,820	275,191			
水道水使用量	m ³	164	98			

Ⅴ. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度		2020年度 基準年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
項 目						
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	232,030	229,710 △ 1 %	227,389 △ 2 %	225,069 △ 3 %	222,749 △ 4 %
電力使用量削減	kWh kg-CO ₂ 対基準	12,984 4,557	12,854 4,512 △ 1 %	12,724 4,466 △ 2 %	12,594 4,421 △ 3 %	12,465 4,375 △ 4 %
ガソリン 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	14,017 32,519	13,877 32,194 △ 1 %	13,737 31,869 △ 2 %	13,596 31,544 △ 3 %	13,456 31,219 △ 4 %
軽油 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	74,470 192,133	73,725 190,211 △ 1 %	72,981 188,290 △ 2 %	72,236 186,369 △ 3 %	71,491 184,447 △ 4 %
灯油 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	1,133 2,821	1,122 2,793 △ 1 %	1,110 2,765 △ 2 %	1,099 2,737 △ 3 %	1,088 2,708 △ 4 %
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	210	208 △ 1 %	206 △ 2 %	204 △ 3 %	202 △ 4 %
産業廃棄物 適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
建設リサイクル率 の向上	% 対基準	98	98	98	98	98
III. 水使用量 削減	m ³ 対基準	164	162 △ 1 %	161 △ 2 %	159 △ 3 %	157 △ 4 %
V. 環境に配慮した 施工の推進	対基準 件	実績不明	実態調査	目標設定	取組継続	取組継続
	対基準			取組開始		

注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、関西電力(株) 2020年度実績値の調整後係数 0.351kg-CO₂/kWh を使用。

注5) 化学物質を使用していません。

(2) 試行運用期間の実績

項 目	年 度	試行運用期間における実績				
		2020年10月 ～2021年9月	(2021年10月～2022年9月)			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	232,030	229,711	208,549	110%	○
電力使用量削減	kWh	12,984	12,854	13,516	95%	△
	kg-CO ₂ 対基準	4,557	4,512	4,744		
			△1%	+4%		
ガソリン 使用量削減	L	14,017	13,877	12,093	115%	○
	kg-CO ₂ 対基準	32,519	32,195	28,056		
			△1%	△14%		
軽油 使用量削減	L	74,470	73,725	67,307	110%	○
	kg-CO ₂ 対基準	192,133	190,211	173,652		
			△1%	△9%		
灯油 使用量削減	L	1,133	1,122	842	133%	○
	kg-CO ₂ 対基準	2,821	2,793	2,097		
			△1%	△26%		
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	210	208	200	104%	○
			△1%	△5%		
産業廃棄物 適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	○
建設リサイクル率 の向上	% 対基準	98	98	99	101%	○
III. 水使用量 削減	m ³ 対基準	164.0	162	98	165%	○
			△1%	△40%		
V. 環境に配慮した 施工の推進		実績不明	実態調査	15件	100%	○
	対基準			15件		

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100(%)、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100(%)

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注3) 環境に配慮した施工とは、排ガス対策型建設機械の使用、低騒音機械の使用、騒音対策の実施、環境に配慮した施工方法等

注4) 建設リサイクル率＝再資源化量÷産業廃棄物排出量

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減		(目標達成)
(下記の通り)		(下記の通り)
電力使用量の削減		(目標やや未達成)
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	△	一部でクールビズも導入したが、もっと多くの工夫が必要であったため、次回に向け対策を考える。
・サーキュレーターの設置	○	頻繁に使用する部屋に設置できた。今回は積極的に活用する。
・不要照明の消灯	○	階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。次回継続。
・設備の空運転禁止	○	昼休みなど長時間不使用時には対応できたが、もっとこまめに入・切の操作をする。次回も継続する。
ガソリン使用量の削減		(目標達成)
・アイドリングストップ	△	概して停車中のエンジンストップが不十分だった。今後は徹底する。
・急加速・急停車の防止	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。今後も継続。
・効率的な移動	○	近い現場が多かった。今後も効率的な移動を心がける。
軽油使用量の削減		(目標達成)
・重機の空ふかしの禁止	△	もっと意識をエコドライブを実行する。
・アイドリングストップ	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。今後も継続。
・空気圧、オイル等の点検	△	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。 次年度も、左記取組を継続する。
灯油使用量の削減		(目標達成)
・ストーブの使用基準の作成	△	使用基準を作成する。
・室温管理 (20℃を基準)	△	もっと省エネ意識を持たせ、ムダな使用を無くして行く。
・部屋開放の禁止	△	コロナの感染予防のため定期的な換気をしている。
一般廃棄物の削減		(目標達成)
・実態調査	○	45L袋の平均重量×月間の個数で計測した。今後も継続する。
・分別の徹底	△	ペットボトルの分別が徹底できなかった。今後分別を徹底する。 正確な排出量を把握しながら、削減に努める。
産業廃棄物の適正管理		(目標達成)
・実態調査	○	正確な排出量を把握する工夫をする。
・素材ボックスの設置	○	分別ができ、状態が把握できるようになった。
・保管場所の掲示板を設置	○	設置済みである。 今後も実態調査を継続しながら、削減に努める。
建設リサイクル率の向上		(目標達成)
・分別によるリサイクル推進	○	コンクリート等の割合が多く、リサイクル率が高かった。
・仮設資材の再利用の推進	○	仮設資材を修理することで再利用に努めた。
水使用量の削減		(目標達成)
・節水の周知徹底	○	節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。
・節水シールの貼付とポスター掲示	○	簡単なポスター等を掲示した結果、意識が向上した。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。
環境に配慮した施工の推進		(実態調査を行った)
・工事分野別の技術・ノウハウ	△	各種工事分野の環境配慮工法について調査を開始。
・環境配慮施工の推進	○	可能な限り環境に配慮した施工を実施した。 次年度も、左記取組を継続する。

VII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守 特定粉じん排出等作業の結果の発注者への報告義務 石綿の事前調査に関する記録の作成、保存義務
自動車NO _x ・PM法	規制対象車両の登録禁止、規制対象車両の指定地域通行禁止
騒音規制法 加西市公害防止条例	特定建設作業の届出、規制基準の遵守
振動規制法 加西市公害防止条例	特定建設作業の届出、規制基準の遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用
低騒音・低振動型建設機械の規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進
消防法	消火設備の定期点検(防火対象物)、事故時の措置届出(通報)、危険物の届出・点検・基準遵守、指定数量未満の危険物保管の扱い、指定可燃物の扱い
加西市火災予防条例	火災発生の恐れのある機器の取扱基準の遵守、指定数量未満の危険物・可燃物の貯蔵の届出及び技術基準の遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者(家電販売店)への引き渡し
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処置 建物解体工事時におけるフロン類使用機器の有無の事前確認と発注者への書面説明、及び当該書面写しの保存

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21は、今注目されているSDG s の取り組みにも共通しており、当社では社員一人一人ですること（節電、節水、エコドライブ等）から始め、社内の様々な無駄を減らしていけるようこれからも積極的に取り組んでいきたいと思ひます。地元の美しい環境を次世代に残すための大切さを社員全員が認識できるよう、意見交換、勉強会などを通して周知していきます。節電、節水、エコドライブなどの省エネについては、今後より一層努力をしていく必要があります。また、3Rなどの無駄をなくす取り組みも、全社員への徹底を図っていく必要があります。全体としては、非常に厳しい経済状況の中、投資をなるべく抑えて、目標を設定して実行し、目標を達成できたことは、非常に評価出来ると考えます。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-
その他	要	朝礼で環境教育訓練の予定を確認する

2023年 1月 10日
代表取締役社長 柏原 修平